

感染状況を踏まえた皆様への改めてのお願いと重点区域の拡大について

(令和3年8月5日)

- 本日は、7月31日から開始した早期集中対策後の感染状況を踏まえた皆様への改めてのお願いと、重点区域の拡大について説明します。

スライド 2

- 県内の感染状況ですが、7月30日に直近1週間の人口10万人あたり新規報告数が10を超えたのち、現在まで拡大傾向が継続しており、いくつかの指標が国の分科会参考指標のステージ3の目安の値に近づいています。

スライド 3

- 県内各市町の感染状況に着目しますと、早期集中対策の重点区域とした広島市、廿日市市及び三原市のみならず、その他の市町においても感染拡大が続いています。

スライド 4

- 今回の早期集中対策においては、夜間の人出抑制を目的として、飲食店の営業時間短縮を要請しています。こちらは、これまでの広島市中心部の夜間の人出と、広島市の感染状況、またその推定感染日をグラフにしたものです。
- 昨年秋以降の感染拡大と本年春の感染拡大において、広島市中心部の飲食店に対して営業時間短縮を要請してきました。その際には集中対策開始後から夜間の人出が減少し、それに伴い感染も減少局面に転換させることができました。
- 具体的には、対策開始直後に7日平均で7,000人台に、対策開始後しばらくしてから7日平均で5,000人台に減少させることで効果が現れていると考えます。
- しかし、今回の早期集中対策においては今のところ人出の減少が見られません。対策の効果の見極めは今週末までに行いますが、対策が効果を発揮しにくくなっている可能性があります。広島市以外の地域における状況も注視していきますが、厳しい状況にあると推測しています。

スライド 5

- 今回、早期集中対策としてこれまでよりも早く行動制限の実施に踏み切りました。
- しかし、人出の減少が実現しなかった場合には、当初想定していたよりも感染拡大が続く可能性があります。その結果、対策が長引くおそれすらあります。

スライド 6

- このような状況を踏まえ、県内の感染状況をステージ3と判断し、国に対しては、まん延防止等重点措置の適用を要請しています。また、現行の早期集中対策の重点区域を拡大します。

スライド 7

- 新たに追加する地域は、呉市、尾道市、福山市及び府中市です。これらの地域においては、感染拡大が継続しており、今後さらに拡大するおそれがあります。

スライド 8

- 繰り返しになりますが、早期集中対策において 当初の3市に加え呉市、尾道市、福山市、府中市を新たに追加し、合計7市へと、重点区域を拡大します。
- 全県での昼間の人出抑制に加え、重点区域での夜間の人出の大幅な減少により現在の感染拡大傾向の改善を目指します。
- そのために、市内の酒類提供飲食店に対して営業時間の短縮要請を行います。

スライド 9

- 要請の内容は、5時から20時までの営業時間短縮と、そのうち、お酒の提供時間は19時までとします。
- 今回新たに追加となった4市については、開始時期を8月10日からとします。
- また、飲食を主としている店舗において、カラオケ設備の提供は自粛することを要請します。金額や要件はご覧の通りです。
- なお、4期から先払いの申請を受け付けているところですが、新たに追加となった4市についても、8月10日から先払いの申請を受け付け8月23日であった受付締め切りを延長し、8月31日までとします。

スライド 10

- なお、前回の7月30日の記者会見で申し上げましたが、「頑張る中小事業者月次支援金」を8月・9月も実施することとし、飲食店の休業・営業時間短縮や外出自粛等の影響を受け、売上が30%以上減少した県内中小事業者に対する、県独自の支援を実施しています。

スライド 11

- 続いて、人が集まる施設への使用制限ですが、7市の施設に20時までの営業時間短縮を働きかけます。
- 対象地域は今回追加になった4市を含む重点区域7市です。

スライド 12

- 前回もお伝えしましたが、イベント等についてです。ご覧の内容を要件とします。
- 人数上限は5千人を上限とし21時までの時短営業の働きかけを行っています。

スライド 13

- これまで、県内の感染状況と、それを踏まえた対策について説明してきました。
- 全国に目を向けますと、感染状況は全国的に悪化しています。
- 皆様ご存知のとおり、首都圏を中心に感染が急速に拡大しています。

スライド 14

- その中でも、広島県よりも早く感染拡大を始めた地域の状況について、懸念していることがあります。
- こちらは、東京都のこれまでの直近1週間の人口10万人あたり新規報告数とその時点での前週比をプロットしたものです。
- 直近の数値をみると、感染の水準が高いにも関わらず、感染拡大のスピードが落ちていない、むしろ上昇しているという過去に例を見ない状態となっています。
- デルタ株の感染力や、行動制限への疲れや慣れ等により緊急事態宣言が効果を発揮しなくなっている可能性もあります。
- このような感染拡大の特徴が今後広島県においても見られるおそれがあります。

スライド 15

- このように、他県の感染状況も非常に悪化しているところですが、大都市からの感染持ち込みリスクについて検証している県外流入指標について、直近では高い水準で推移しています。
- 県外で感染が拡大していることと、東京や大阪からの流入も減少していないことで増加しています。
- 県内での感染拡大を抑え込むとともに、感染の持ち込みにも最大限の警戒が必要です。県内での拡大リスクと共に、持ち込みのリスクも拡大しています。

スライド 16

- 現在の懸念事項としては、
 - ・デルタ株の影響により感染が急拡大する可能性があること。
 - ・県外の感染状況が悪化しておりお盆休みの帰省などでそれら感染が持ち込まれるリスクも高いこと。の2点があり、今後のさらなる感染拡大リスクは高いものと考えます。
- なので、人出の減少に向けたさらなる強い対策が必要と判断し、まん延防止等重点措置を要請しました。
- しかし、これらの懸念事項により、最悪の場合は緊急事態宣言が発出されるような状態に陥るおそれさえあります。
- そうならないためにも、今一度、皆様に御協力をお願いしたいと思います。

スライド 17

- まずは、昼間の人出の削減です。繰り返しになりますが、そのための全県民と事業者の皆様への要請です。
- 生活に必要な買い物を含めて外出を半分にしてください。出勤者を7割減らしてください。

スライド 18

- 次に、夜間の人出の大幅な削減です。そのため、事業者の皆様のご協力によって重点区域7市のお酒を提供する店舗に対して、酒類の提供時間短縮と営業時間の短縮を要請しています。
- また、重点区域の7市では、20時以降の外出はせず、勤務も抑制してください。
- 夜間の人出を大幅に削減するということは、お店の協力だけでは効果がなく、何よりもお客さんとなる県民の皆さんが20時以降に外出をしないことが重要です。

- 県民の皆さんは、協力要請に応じていない店舗は利用しないでください。

スライド 19

- 繰り返しになりますが、首都圏と関西圏をはじめとして感染者が急増しています。このタイミングでの県外往来は、県内でのさらなる感染拡大や、他地域での拡大につながるおそれがあります。
- 自分自身が感染するだけでなく、大事な誰かに感染させてしまうリスクが高くなっています。
- 県内で、さらに感染拡大すると、様々な行動制限の強化や延長にもつながってきます。
- そのため、このお盆休みには県境をまたぐ移動は自粛してください。
- また、他地域から人を呼ばないでください。

スライド 20

- それでも、事情があって広島県に来られる方には帰省予定者向けの事前PCR検査を勧めてください。
- このほか、駅や空港、サービスエリアでの帰省者向け検査もあります。
- 詳細は、県ホームページに掲載しています。
- なお、この事前検査については、8月4日現在で、6,000人以上の方にお申し込みいただいています。そのうち、4,000人以上の方がご家族からの勧めで申し込みをされていたことが分かっています。
- 報道機関の皆様による報道や、ご家族が独自に調べて広島県外のご家族や友人にお伝えしておられるのだと思いますが、やむを得ず帰省を考えている県外のお子さんやご兄弟、あるいはご友人がいらっしゃったらぜひ受検を勧めてくださいようお願いいたします。

スライド 21

- ここからワクチンの話になります。全国的に感染状況が厳しくなっており、広島県においても今後、感染状況がさらに悪化する可能性があります。
- しかし、ワクチン接種により希望が見えている部分もあります。
- こちらは、感染状況と高齢者へのワクチン接種率の推移を示したものです。

スライド 22

- 詳細にみると、過去の大きな感染拡大と、今回の感染拡大における、同等の感染状況での65歳以上の感染者の占める割合を調べたところ、今回の感染拡大では、これまでよりも低い割合に抑えられていることが分かります。
- 一番左が今回ですが、高齢者の割合がバンド内にあり、下がっていることが分かります。

スライド 23

- このように、ワクチン接種の効果は確かにあると思っていますが、
 - ・ 全体の感染規模を抑えることと、
 - ・ ワクチン接種をさらに進めることの2点が達成されなければ、感染者の数が多くなり、現在の医療提供体制、通常医療に大きな負荷がかかるおそれがあります。
- そこで、これまでお願いしてきた感染拡大防止対策を徹底しつつ、ワクチン接種をさらに推進していく必要があります。

スライド 24

- ワクチン接種を進めるための取組として、広域接種の取組を開始しています。
- 具体的には、これまで一定の手続きをしなければできなかった、住所地以外での接種ができるようになっています。
- これまで以上に接種しやすい状況になっていますので、接種場所等の関係から接種を悩まれていた方は是非、前向きに検討をお願いします。
- 接種にあたってはご覧の注意点もありますので、市町ごとの情報を確認して、接種してください。

スライド 25

- ワクチン接種が進んできているので、少しずつ状況は改善していますが、今の感染拡大を抑えることは現時点ではワクチンだけではできませんし、感染者が増えれば、当然、中等症や重症の方が増えてしまうので、もうしばらくは徹底した対策が必要です。
- 感染が拡大している今、ワクチンが普及し始めているけれどもまだ行き渡っている訳ではない今が、まさに正念場です。正念場と何度も言っており、毎回、正念場ですが、今回は本当にデルタ株との関係も含めて正念場です。デルタ株による感染が拡大すると手が付けられなくなる恐れがあります。今を乗り切ればワクチン接

種済みの方がより増加します。

- これまでも、皆様の多大な協力により感染拡大を乗り切ってきました。現在の対策により感染者数を低く抑え、行動制限を早く終わらせるために、行政として、出来ることを全力で行っているところです。しかし、やはり県民の皆様とともに、全員で取り組まなければ抑え込みの効果は十分に出ないと考えています。
- 広島県においては、ここでしっかりと踏ん張って、なんとか拡大を抑えたいと思います。鍵になるのは、外出の半減、出勤者7割減による昼間の人出削減と事業者の皆様の協力による時短営業と夜間の人出の削減です。みんなで徹底して取り組みましょう。私からは以上です。